位置情報ワークフロー · 製品紹介資料

自動で動き続ける位置情報データ

xMap Flows

仕組みと、チームが活用する20の方法。

3億+
POI（地点情報）

10億+
1日あたりのデバイスシグナル

54
ビルディングブロック

20
ユースケース

xMap · 位置情報データプラットフォーム

flows.xmap.ai

対象読者
営業・オペレーション・データチーム

課題

位置情報データは、
行動につながって初めて役立ちます。

位置情報データの多くは、プロジェクトのために購入され、一度分析されて保管されます。次の四半期には店舗が変わっているのにレポートは変わらず、答えを必要としていたチームは問いかけるのをやめてしまいます。

一度きり

いつもの調査

ファイル

答えの届く先

古い

次の四半期には

xMap Flowsは、同じデータを皆さまのチームがすでに使っているシステムにスケジュールどおりに連携します。

この資料の内容

2つのパートと、見るべきところ。

第1部は製品、第2部はチームの活用方法です。

	セクション	内容
01	**課題**	位置情報データが行動する人にめったに届かない理由。
02	**第1部 · 製品**	フローの仕組み、全54ブロック、管理機能、Ask xMap。
03	**第2部 · 20のユースケース**	全ユースケースの一覧と、5件の詳細。
04	**はじめに**	3つのステップ。最初のステップにアカウントは不要です。

ユースケースのシナリオと数値は、フローが生み出すものを示すモデルケースです。特定の顧客を描いたものではありません。

01

第1部
製品

フローはブロックの連なりです。トリガーから始まり、エリアを見て、データを集め、AIが意味づけし、ルールを適用し、アクションで終わります。

フローの仕組み

6種類のブロックを左から右へつなぐ。

項目はブロック間の線に沿って流れます。各ブロックは情報を加えるか、絞り込みます。

01

トリガー

時刻表、チャットのメッセージ、新しい行、自社の地点付近の変化、またはアプリのイベント。

02

エリア

国、都市、検索で見つけた場所、描いた多角形、または移動時間。

03

xMapデータ

ライブの物件情報、5,000種類以上の場所、居住者、人流、求人、道路、船舶、天気。

04

xMap AI

わかりやすい言葉でのスコア化と順位付け、そしてブロックをツールとして使いメッセージに答えるAIエージェント。

05

自社データとロジック

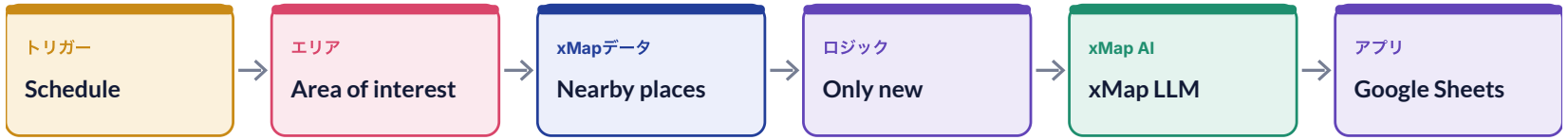
すでにあるものは除き、条件に合うものだけを残す。

06

アクション

メール、書き込んだ場所への返信、レポート、地図、または11のアプリ：チャット、シート。

ひとつのフローを、左から右へ



コード不要。各ブロックは説明付きで、設定パネルに価格が表示されます。

2つの進め方

一度きりの調査から、動き続ける仕組みへ。

どちらの列もデータは同じです。違うのは、誰かが依頼するのを覚えておく必要があるか、そして答えがどこに届くかです。

項目	一度きりの分析	フロー
きっかけ	誰かがレポートを依頼する	スケジュール、チャット、新しい行、アプリのイベント
鮮度	実施した日だけ正しい	毎時、毎日、毎週、毎月、再実行
1回あたりの手間	毎回、アナリストの時間	最初の構築後は不要
成果物	ファイルまたはスライド	レコード、メッセージ、行、地図
コスト	固定のプロジェクト費用	クレジット。成功した実行のみ
担当	スプレッドシートを作った人	権限を付けてチームと共有

フローを始め、場所を選び、世界を読み取る。

54ブロックのうち最初の23。

トリガー	
Chat	チャットページやチャットウィンドウに誰かが書き込むと開始します。
New rows	表やGoogleスプレッドシートに行が追加されると開始。
Schedule	任意のタイムゾーンで、スケジュールに沿って開始。
When something changes	場所の開業、閉業、評価の低下、または道路の通行止めで開始します。
エリア	
Area of interest	国、都市、場所、または描いた図形。
Find nearest	各地点に最も近い自社の地点。
Travel area	各地点から道路でN分またはN km以内のエリア。
XMAPデータ	
Browser	クラウド上のブラウザが公開ウェブサイトで作業します。ログイン、購入、支払い、送信は一切しません。
Demographics	地点の周辺またはエリア内の居住者数、男女別、年齢層別。
EV charging	各地点の周辺やエリア内の公共充電ステーションを、出力と運営事業者付きで。

XMAPデータ	
Job postings	キーワードと場所で探す、ライブの求人。
Map business scan	エリア全体を検索した、ライブの店舗情報。
Mobility Footfall	各地点周辺の1日あたりの人流と、最も混む時間帯と曜日を、匿名の合計値で。
Nearby places	5,000種類以上の場所を、ある場所の周辺またはエリア内で探します。
News	ニュースフィードやニュースページの記事を、指定した語句またはxMap AIで選び、地図上に配置します。
Property changes	米国の郡の不動産記録から、新しい所有者、売買、評価額、用途、または各地点の所有者。
Regional data sources	国ごとに選ぶ各国のデータセット。
Satellite images	各地点の最新の衛星画像。
Ships (AIS)	港や沿岸付近の船舶を、AISでライブに。
Traffic Flow	各地点周辺の道路のリアルタイムの速度、渋滞係数、通行止め。
Traffic incidents	ライブの通行止め、道路工事、事故。
Weather forecast	最大16日先まで、日ごと・時間ごとに。
Web page watch	ウェブページの変化をわかりやすい言葉で、またはページ上のリストの新しい項目。

Mobility Footfallは、xMapの人流データがカバーする都市で、匿名の合計値としてライブです。

AI、自社のデータ、そして結果の送り先。

次の17ブロックとアプリ。

XMAP AI	
AI agent	他のブロックをツールとして使い、各メッセージに答えます。
Jev decision	各項目に、はい・いいえ、選択、またはスコア。
Place classifier	整理されたカテゴリ、重複の統合。
xMap LLM	わかりやすい言葉で採点、順位付け、照合、要約。
自社データ	
Apollo	各企業の意思決定者を、自社のApolloアカウントから。
Database lookup	各項目を自社データベースで照会。
Database query	自社データベースから行を読み取る。
Match with my table	項目を自社の表と照合、または表にあるものを除外。
MCP tool	接続したMCPサーバーのツールを呼び出す。
My data	アップロードした表と保存したリスト。
Save to my database	結果を自社データベースに書き込む。
Team findings	他のAI社員が今週見つけたものを、前週と比較して。

アクション	
Email	実行ごとに1通、または項目ごとに1通のメール。
Make a report	自社ブランドのPDFレポートやスライドを、メール送信またはDriveに保存。
Outreach	一人ひとりへの最初のメッセージとフォローアップ。事前に承認し、返信があれば停止。
Reply	実行を始めた人に、その人が書き込んだ場所で返信します。
Show on a map	結果を地図として保存し、開いたり共有したり。
アプリ	
11のアプリ	Slack、WhatsApp Business、Google Sheets、Gmail、Microsoft Teams、ほか6つ。
7つのアプリイベント	7つのアプリのいずれかで何かが起きると開始。

各ブロックの価格は設定パネルに表示されます。

あなたのルール。

最後の14ブロック。ロジックを早めに置けば、後のブロックの処理が少なくなります。

ロジック	
Approval	人が承認するまで実行を保留。
Branch	項目を「はい」と「いいえ」の経路に分ける。
Calculated field	数式で計算した項目を追加。
Custom code	独自のJavaScriptを、サーバー上で安全に実行。
Filter	ルールに合う項目だけを残します。
Only new	このフローがまだ見ていないものだけを残す。

ロジック	
Remove duplicates	地点・電話番号・ウェブサイトごとに1件。
Route planner	担当者ごとの訪問先の最適な順序と道順。
Run another flow	項目を使って別のフローを実行。
Sort and limit	項目を並べ替え、上位を残す。
Split by territory	担当者ごとに、エリアで分けた公平でまとまった担当区域。
Wait	一定時間、または指定時刻まで実行を保留。
What changed	前回から閉店・移転・変更された場所。
Zone alert	ゾーンに入った、横切った、出た項目。

Only newとMatch with my tableが既存のものを先に取り除くので、後のブロックは行動できる地点だけを処理します。

チームでの運用

共有フロー、明確な役割、誤って稼働することはない。

メッセージを送り、自社のシステムに書き込むフローには、自動で動く他のシステムと同じ注意が必要です。

役割と共有

非公開、チーム、または指定した人

各企業は独自の組織、クレジット、接続を持ちます。フローは非公開、チームと共有、または指定した人と閲覧・編集で共有できます。

公開前チェック

稼働前にチェック

フローは、すべてのブロックに有効な設定と接続済みのアカウントがあるときだけデプロイされます。同じチェックがサーバーでも再度行われます。

記録

すべての実行、変更、クレジット

各実行は、各ブロックが返した内容とコストを記録します。管理者はアクティビティログと、すべての課金の台帳を確認できます。

会社のメールアドレスと確認コード、またはGoogle、Microsoft、自社のシングルサインオンで登録します。無料のメールサービスは利用できません。

ASK XMAP、アシスタント

アプリの中のアシスタント、そしてWhatsAppにも。

製品、フロー、結果について答え、頼まれた作業をご自身の権限で行います。

01

フローを構築・変更

やりたいことを一文で伝えると、フローを構築し、テストし、失敗した部分を直します。

02

xMapのWhatsApp番号で

番号を一度追加するだけ。あとはメッセージ、ボイスメモ、電話を、ひとつの会話で。

03

ファイル、写真、場所

写真、PDF、スプレッドシートを送って質問、または現在地を共有。

04

記憶、リマインダー、タスク

自分だけが見るメモ、自分のタイムゾーンでのリマインダー、タスクリスト、フォローアップ。

05

自分のファイルと受信トレイ

チームのファイルと表、そして自分のOutlookの受信トレイとカレンダーから回答。

06

まずは「はい」を確認

変更、実行、送信、消費する操作はすべてチャットでの「はい」を待ちます。口頭の「はい」は不可です。

管理者は組織のWhatsAppでの利用をオン・オフでき、そこでは回答のみに限定でき、90日間の操作ログをダウンロードできます。

02

第2部
20のユースケース

業種ではなくチームが達成したいことごとにまとめています。同じフローが複数の業種で役立つことが多いからです。どれも第1部のブロックで構築できます。

全20のユースケース

すべてのユースケースを名前で。

今四半期の課題に当てはまるものを探してください。それぞれflows.xmap.ai/showcasesに1分のストーリーがあり、ガイドに詳しいページがあります。

01 出店・立地選定と計画 4件

01 コーヒーの前に採点される1週間分の街歩き
02 人がいる場所に次のクリニックを
03 短距離の移動がまだ車で行われる場所に新しい駐輪ポートを
04 ドライバーが充電できない場所に次の充電ステーションを

02 新規顧客の開拓 4件

01 新しいパン屋の扉を一番にくぐる
02 向かいのホテルより先に新しい法人顧客を
03 ビルが売れたその週に、新オーナーへ彼女から連絡
04 新しいバーを月曜までに担当者のリストへ

03 オペレーション 4件

01 すべての救急車を、たどり着ける病院へ
02 担当者が出発する前に12の公平なルート
03 港が自ら答え、プランナーは計画に集中
04 通りが最も混む時間に薬剤師を配置

04 データとリサーチ 4件

01 12人のAI社員、パートナー向けに1ページ
02 買い物客が本当に来る場所に広告を
03 ケアネットワークの空白を埋める
04 朝食前に60の畑を確認

05 アラートとモニタリング 4件

01 クレーンが来る前にホテルの記事を出す
02 台風から保険付きの船を守る
03 6万人のファンが来る前に道路工事を解消
04 南からの嵐の1日前に

ユースケースのシナリオと数値は、フローが生み出すものを示すモデルケースです。特定の顧客を描いたものではありません。

活用されている分野

ひとつの製品、13の業種。

ブロックは業種によって変わりません。変わるのはエリア、カテゴリ、送り先です。

エネルギー・公益
2つのユースケース

交通・モビリティ
1つのユースケース

小売・消費財
1つのユースケース

食品・デリバリー
2つのユースケース

銀行・フィンテック
1つのユースケース

行政・都市
2つのユースケース

コンサルティング
2つのユースケース

物流・港湾
1つのユースケース

医療
2つのユースケース

保険
3つのユースケース

農業
1つのユースケース

旅行・観光
1つのユースケース

マーケティング・メディア
1つのユースケース

13
業種

5
種類の目的

20
ユースケース

1,000
の既製テンプレート

人がいる場所に次のクリニックを

クイックウィン

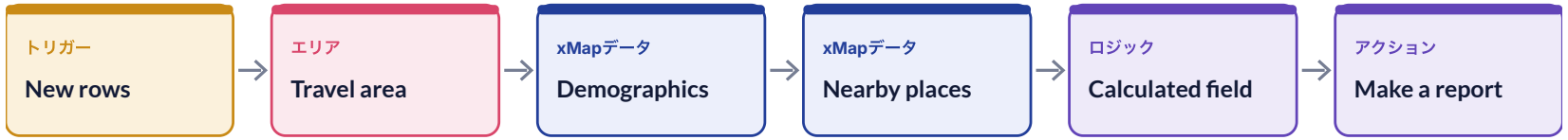
課題

候補地ごとに、彼女のチームはスプレッドシートと現地訪問に2週間を費やします。近くに誰が住んでいるか。競合するクリニックはいくつあるか。答えはいつも古いのです。前回のクリニックはオフィス街に開業し、昼は混むのに夜はいつも空っぽでした。

アプローチ

xMap Flowsで、PloyはAtlasを作りました。チームが候補地を追加するたびに、Atlasは車で15分以内の範囲を描き、その中に住む子どもと高齢者を数え、既存のクリニックを見つけ、1クリニックあたりの人数を算出し、その日のうちに役員会へレポートを送ります。

フロー



22
検証した候補地、4から増加

1日
構想から役員会レポートまで

19,000
BANG NAの1クリニックあたりの人数

利用者 ・ 出店開発責任者 · ファミリークリニック

新しいパン屋の扉を一番にくぐる

標準

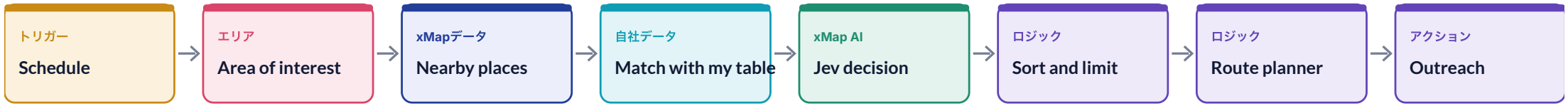
課題

毎朝、彼女は地図をスクロールして新しいパン屋を探します。多くは閉まっているか、すでに他社から仕入れています。6時までに4件訪問し、2件は空振り。火曜に通りかかった新しいパン屋は？昨日、競合が契約しました。

アプローチ

xMap Flowsで、SaraはScoutを作りました。毎朝7時、チュニス都市圏全域で、Scoutは最近開店したパン屋を見つけ、既存の取引先を除き、購入の見込みを採点し、上位6件を残し、その日のルートを計画して、各店に挨拶を送ります。

フロー



12
今週見つけた新しいパン屋

9
1日の有効な訪問、4から増加

6
到着前に送った挨拶

利用者 · フィールド営業担当 · 食品卸

すべての救急車を、たどり着ける病院へ

クイックウィン

課題

隊員は習慣で病院を選びます。進入路が渋滞すると、救急車は入口の数百メートル手前で20分も動けないことがあります。指令員がそれを知るのは無線からで、患者が待たされた後です。

アプローチ

xMap Flowsで、KwameはBeaconを作りました。15分ごとに、6つの救急入口それぞれで道路の流れを測り、空いている病院から順位を付け、指令用の地図を更新し、進入路が完全に止まっていれば、すべての指令員に即座に警告します。

フロー



15分
道路チェックの間隔

6
監視している病院の進入路

9分
平均搬送時間の短縮

利用者 ・ 指令責任者 · 救急サービス

買い物客が本当に来る場所に広告を

クイックウィン

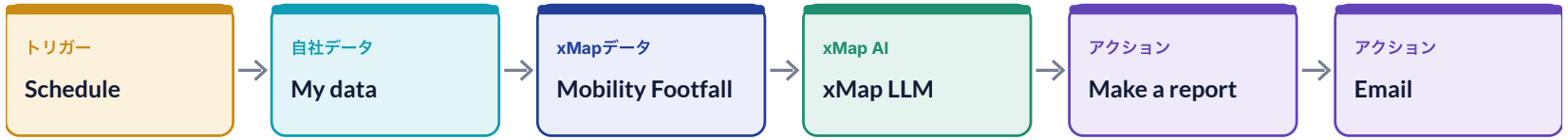
課題

彼は看板とラジオに何百万も費やし、市内全域に広げています。買い物客が本当にどこから来るのか、誰も知らないからです。年1回の調査は入口で200人に聞くだけ。印刷される頃には、新しい地下鉄路線がすべてを変えています。

アプローチ

xMap Flowsで、ThiagoはLodestarを作りました。毎月第1月曜、Lodestarは彼の3つのモールについて、来場者がどこから来てどう移動するかを把握し、広告に値する地区を選び、短いレポートを作ってメディアエージェンシーに送ります。

フロー



3件中1件
2地区からの来場者

50%
移した看板

3
毎月測定するモール

利用者 · マーケティング部長 · ショッピングモール

台風から保険付きの船を守る

クイックウィン

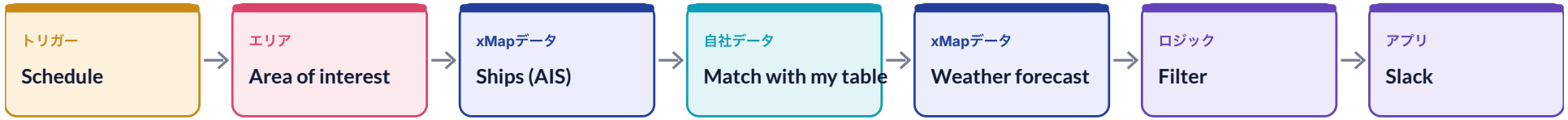
課題

台風が沿岸へ向かうとき、彼の顧客の船は保険付きの貨物を積んで海上にいます。ある画面で船舶追跡を、別の画面で予報を、3つ目で保険契約を確認します。船主に電話する頃には、船は嵐の中です。

アプローチ

xMap Flowsで、SeojunはWrenを作りました。毎時、釜山港とその航路周辺で、Wrenは海上のすべての船を一覧にし、彼が保険を引き受ける貨物を積む船だけを残し、各船の位置で今後の風を確認し、強風に向かう船を選び、避難の時間があるうちに船主に警告します。

フロー



7
早めに知らせた保険付きの船

6時間
強風前の警告

0
失われたコンテナ

利用者 · 貨物保険引受人 · 海上保険

3つのステップ。最初のステップにアカウントは不要です。

各ステップは、同僚が見られる成果で終わります。

1日目

ゲストとして試す

flows.xmap.aiで場所の種類と都市を選び、Run it liveを押します。仕事用のメールアドレスを残せば、リストがメールで届きます。

1週目

フローをひとつ公開する

会社のメールで登録し、結果の送り先を接続し、スケジュールを設定してデプロイします。足りないものはデプロイチェックが教えてくれます。

1か月目

習慣にする

フローに担当者を決め、何を実行し何にコストがかかったかを毎週確認します。その後、2つ目の送り先を加えるか、別の市場向けにコピーします。

物件、場所、求人、道路の速度と事故、船舶、衛星画像、天気、居住者、人流、ニュースはライブです。ある場所にライブデータがない場合、ブロックがそう表示します。

次のステップ

難しいのはデータではありません。
難しいのは、行動する人に届けることです。

誰かが毎週その結果を目にするフローをひとつから始めましょう。

- 業種ごとの1分のストーリーを、flows.xmap.ai/showcasesでご覧ください。
- ホームページで自分でフローを実行するか、Ask xMapに構築させましょう。始めるのにアカウントは不要です。
- call.xmap.aiで打ち合わせを予約してください。印を付けたユースケースをお持ちいただければ、それぞれに必要なブロックを対応づけます。

この資料のシナリオと数値はモデルケースであり、
顧客の実績ではありません。